



9月ほけんだより

2022年9月1日 晴見保育園



まだまだ残暑が続きますが、幾分過ごしやすくなりました。元気いっぱい夏を過ごした子どもたち。夏の疲れや気温の変化で体調を崩しやすくなります。たっぷり睡眠をとり、休みの日はゆっくり休養するなどして体調を整えましょう。

家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか？

0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼ口ではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

キッチン

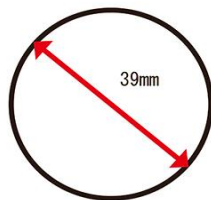


炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

ベランダ



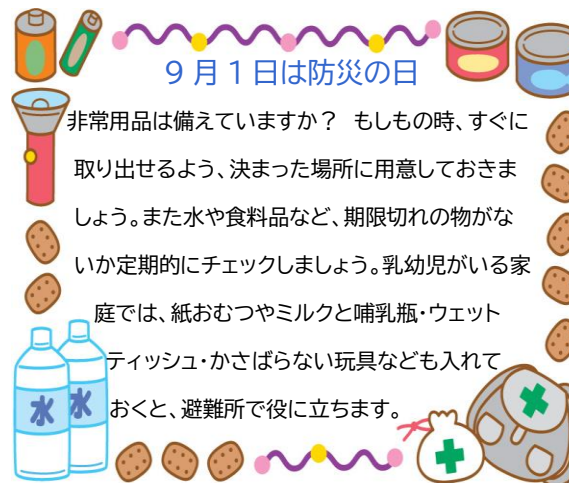
台などによって手すりを越える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

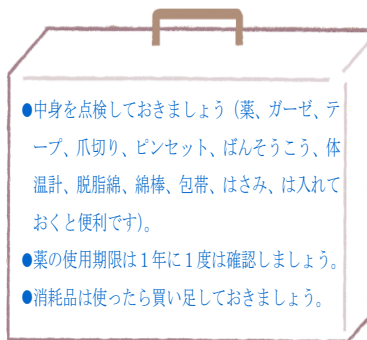
9月1日は防災の日



非常用品は備えていますか？ もしもの時、すぐに取り出せるよう、決まった場所に用意しておきましょう。また水や食料品など、期限切れの物がなければ定期的にチェックしましょう。乳幼児がいる家庭では、紙おむつやミルクと哺乳瓶・ウェットティッシュ・かさばらない玩具なども入れておくと、避難所で役に立ちます。

救急の日 9月9日は救急の日です。

ご家庭に救急箱はありますか？ お子さまがけがをしたり、具合が悪くなった時にすぐに使えるように準備しておきましょう。



- 中身を点検しておきましょう（薬、ガーゼ、テープ、爪切り、ピンセット、ばんそうこう、体温計、脱脂綿、綿棒、包帯、はさみ、は入れておくと便利です）。
- 薬の使用期限は1年に1度は確認しましょう。
- 消耗品は使ったら買い足しておきましょう。



お知らせ

9月の0歳児健診：1日(木)9:30

…乳児医療証について…

乳児医療証が10月より更新となります。新しい医療証が届いたら1部

コピーのご提出にご協力を

お願いいたします。



どうしように役立てて



年齢が上がるにつれ、できることが増えていく子どもたち。同時に、思わぬケガや事故も増えていきます。あわてず対処できるように、覚えておいてください。

切り傷・すり傷

傷口を洗い、清潔なタオルなどでおさえます。傷口が大きい場合や出血がおさまらないときは病院へ。

誤飲

何をどれくらい飲んだか、どんな状態かを確認します。大量の薬を飲んだ、意識がない、けいれんや嘔吐をしている場合は、受診を。

やけど

水道水で10分以上冷やします。やけどの範囲が広い、水ぶくれができて、皮膚が黒または白くなっている場合は病院へ。

